



7月の野菜研

あおもりの未来
技術でサポート

令和元年8月1日

地方独立行政法人青森県産業技術センター 野菜研究所

7月に研究所内で行った行事、作業等について簡単に紹介します。

ナガイモつる下げ作業

ウイルスに感染していないナガイモの優良種苗を供給するため、アブラムシが侵入しないよう専用のハウスで種苗を生産しています。種苗は、むかごの形で供給しています。むかごは下方に下がったつるに形成するため、むかごを多く収穫できるようにつるを下方に仕立てる”つる下げ”という作業を7月に行っています。

ハウス内は高温になる上、折れやすいつるを丁寧にほどこきながらの作業となるので、作業者は体力と神経を使いながらの作業になります。

葉腋から出始めた
むかご



ドローンを使った農薬散布試験



ナガイモでは、ドローンで利用できる薬剤の数が少ないので、その数を増やすための薬剤試験を行っています。7月24日、午前6時から本年度最初の薬剤散布を行いました。この試験は、8、9月に更に1回ずつ散布を行う予定です。

研修会等

7月11日、営農指導員等の土づくり担当者37名が参加し、土づくり指導力向上の研修会を開催しました(右写真)。研修では、土壌に関する講義、土壌調査の実習をしました。



7月23日、弘前南高等学校の生徒16人が来所し、県内の野菜生産に関する講義、所内の見学等を行いました。写真(左写真)は、ニンニクリン片に侵入したイモグサレセンチュウを観察している様子です。



連絡先: 野菜研究所

Tel 0176-53-7171 Fax 0176-53-8934

Email nou_yasai@aomori-itc.or.jp